

(様式1)

施設指定管理者モニタリングチェックシート

30年 7月～ 9月期

施設名	豊明市老人福祉センター
指定管理者名	シンコースポーツ株式会社 名古屋支店
指定期間	平成 27年 4月 1日 ～ 平成 31年 3月 31日
所管課	豊明市健康長寿課

区分	項目	指定管理者	指定管理者備考	市	市備考	
① 業務の 履行 確認	【施設全般の管理運営に関する業務】					
	条例施行規則に基づいた開館日・時間を遵守しているか	A		A		
	条例規則ほか各種規程を遵守のうえ、施設を供用しているか	A		A		
	人人体制が明確になっており、常に体制が整っているか	A		A		
	適切な有資格者を常に配置しているか	A		A	人員は前年度と変わりなし。	
	管理日誌等により、業務の記録をしているか	A		A		
	緊急事態発生時の対処マニュアルが整備されているか	A		A		
	【利用者に関する業務】					
	利用者数、稼働率等が著しく低下していないか	A		A	らくらす利用者増加により、総利用者数は増加。入浴施設は、第1四半期に比べて500人弱減少。	
	利用料金の設定、徴収、還付等手続は適切か	A		A		
	【保守点検並びに清楚業務等】					
	建物、機械等の点検・保守は定期的に行われているか	A		A	体育館に合わせて毎月実施。	
	定期的に清掃、除草、剪定等が行われているか	A	8/29に剪定を実施。	A		
	異常、不具合等を発見した場合、速やかに市に報告しているか	A		A	8月にエアコン故障し、報告あり	
	利用者に対し、危険箇所の注意喚起を行っているか	A		A		
	破損箇所等が見つかった場合、適切に修繕等が行われているか	A	下記3点を実施。	A	修繕箇所について確認済。	
	修繕等の履歴を適切に管理しているか	A		A		
	備品は適切に管理しているか	A		A		
	消耗品等は適切に補充しているか	A		A		
	【事業の実施に関する業務】					
	指定事業は適切に実施されたか	A		A		
	自主事業は適切に実施されたか	A		A	盆踊り大会を実施。40人程度参加。	
	【個人情報の取り扱い】					
	個人情報等の管理は適切に行われているか	A		A		
	【①に係る指定管理者の自己評価】 ・女性トイレウォシュレット漏水、多目的トイレフレキ管、陶芸用カクハン機修繕を行いました。					
	【①に係る施設所管課の評価】 適時の補修点検を継続してお願いします。総利用者数は増えてきておりますので、利用者が継続して利用したいと思えるような自主事業等の検討もお願いします。				区分評価	A

区分	項目	指定管理者	指定管理者備考	市	市備考
② サービスの質の評価	【施設の運営状況に関する事項】				
	窓口対応は適切に行われているか	A		A	アンケート結果からの満足度は高い。
	アンケートを実施するなど、利用者の意見を聞いているか	A		A	8月に来場者アンケート実施。
	苦情や要望等に対して迅速にかつ適切に対応しているか	A		A	清掃については、利用者の意見を聞き、靴箱周辺は適時消毒する等対応している。
	事故等が発生した場合、速やかに市に報告しているか	A		A	
	施設の清掃業務や衛生管理は適正か	A		A	体育館と合わせて定期的に清掃が行われている。
	貸出備品等は良好に保たれているか	A		A	
	実施された自主事業等は満足できる内容であったか	A		A	今後も落語やオカリナを行う予定。
	【指定管理者が設定したサービス水準に関する事項】				
	マッサージ器(スカイウエル)の設置による利用者満足度の向上	A	継続利用者が数名存在。昨年度利用比 約129.7%	A	継続利用者が多い。10名/日程度、利用者がいる。
	浴室用物販の開始による利用者満足度の向上	A	定期購入者が数名存在。昨年度比 約126.0%	A	
	HPIによる広報・PR活動により利用者の増加	A	昨年度比 約123.2%	A	らくらすやきずなの部屋の利用者が増えている。
	【②に係る指定管理者の自己評価】 ・スカイウエルにおいて、前年度比約129.7%と昨年度からの利用増となりました。第1四半期の利用減から福祉体育館の施設内への掲示物を増やしたことも効果があったと思われます。 ・利用者数においては昨年度比約123.2%となりました。増加の要因としては第1四半期と同様です。				
【②に係る施設所管課の評価】 ・マッサージ器の継続利用者も増え、自主事業の啓発活動の効果が出ていていると思います。 ・らくらすやきずな利用者だけでなく、日中通して継続利用者が増えるような啓発活動もお願いします。				区分評価	A
③ サービス提供の安定性の確認	事業収支は黒字になっているか	B		B	
	必要な帳簿は備えられているか	A		A	
	経理処理は適正に行われているか	A		A	
	収入増加のための取組がなされているか	A		A	
	管理経費縮減に関する取組がなされているか	A		A	
	団体の経営状況は健全で安定しているか	A		A	
	【③に係る指定管理者の自己評価】 ・有料サービスの利用者が増加傾向にあることに加え、講座・教室の中止等の要因により支出が抑えられたことから若干の黒字となりました。しかしながら、偶発的なものであるため自己評価はBと致しました。				
	【③に係る施設所管課の評価】 ・収支にとらわれずに、サービスが今後も安定して利用者に提供されるようお願いします。				区分評価

【項目評価】

- S（優良）： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準を上回っている。
- A（良好）： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿っている。
- B（課題あり）： 協定書、仕様書等を遵守しているが、内容の一部に課題がある。
- C（要改善）： 協定書、仕様書等が遵守されておらず、改善が必要である。

【区分評価】

- S（優良）： 項目評価が全てA以上、かつSが過半数以上。
- A（良好）： 項目評価が全てA以上。
- B（課題あり）： 項目評価にBがある。
- C（要改善）： 項目評価にCがある。